

JMAC 第 32 回技術講演会のご案内

主催: 日本モーダル解析協議会

会期: 2015年9月3日(木)~4日(金)

会場: 中央大学理工学部(後楽園キャンパス)

拝啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

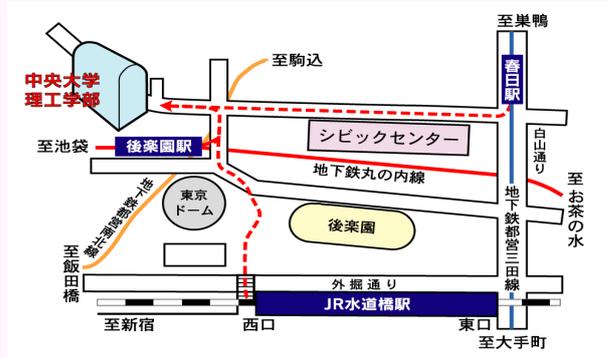
日本モーダル解析協議会(JMAC)では、振動騒音、音質や感性評価などダイナミクス関連の実験や解析技術者への情報発信と若手エンジニアの育成を推進することを目的に、1991年発足から毎年技術講演会を開催して参りました。2015年度 第32回技術講演会は、**“復刻 メイド・イン・ジャパン ~ものづくりを支える女性エンジニア~”**をテーマに、大学・産業界の第一線で活躍されている講師をお迎えして技術講演・研究事例発表を行います。今回は、特別企画として、**一般講演プログラムの多くが女性エンジニアによる発表となります。**

また、併設展示会「サウンド&バイブレーションデザインフェア2015」や新設「ランチセッション」を通してCAEや振動・騒音対策などに関する最新の情報収集や意見交換ができ、産官学の人的交流に貴重な機会となります。是非ご参加頂き、日々の業務にお役立て下さい。 敬具

日本モーダル解析協議会 会長
中央大学 理工学部 教授 大久保 信行

◆ 開催時間 9月3日(木)~4日(金)
両日共 10:00~17:00

◆ 会場 中央大学理工学部(後楽園キャンパス)
東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」徒歩5分
都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」徒歩7分
JR総武線「水道橋」徒歩15分



◆ 参加費

法人登録	¥30,000 (同一部署で5名様まで参加可)
法人個別登録	¥14,000 (企業にお勤めの方1名参加)
教育機関登録	¥20,000 (代表者1名と同一機関から4名様まで参加可)
個人登録	¥12,000 (企業名の請求書は発行致しません)

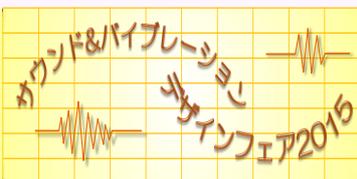
☆参加申込み等、詳しくは下記ホームページにアクセスをお願い致します。
日本モーダル解析協議会 <http://www.modal.jp/>

◆ 併設展示会 9月3日(木)~4日(金) 9:30~17:00 ※新設「ランチセッション」有り
「サウンド&バイブレーションデザインフェア2015」振動・騒音問題解決の専門展示会

<出展メーカー>

アルテアエンジニアリング, エー・アンド・デイ, エステック,
シーメンスインダストリーソフトウェア・シミュレーション&
テスト, キーデバイス, システムプラス, 静科, テクノスター,
東陽テクニカ, 富士セラミックス, ブリュエル・ケアー・ジャ
パン, ポリテックジャパン, 丸文

併設展示会同時開催!!
9/3(木)~4(金)
9:30~17:00



9/3(木) JMAC 第32回技術講演会- I

9:30	— 受付・展示会 —	
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
10:00	会長挨拶・講演「IMAC2015特別テーマ“Balancing Simulation and Testing”について」 2015年2月に開催されたIMAC2015における特別テーマに関する発表を紹介、実験データと最新の解析ソフトをいかに融合して利用できるか概説する。	中央大学 理工学部 教授 大久保 信行
10:30	基調講演「ブレーキ鳴き FEM 解析の歴史と問題点について」 自動車用ディスクブレーキ鳴きは最重要課題の一つであり、現在まで FEM を用いた複素固有値解析によるコンポーネント固有値チューニングが実施されてきたが十分な成果が得られたとはいえない。この状況についてブレーキ鳴き複素固有値解析の問題点と今後のアプローチについて述べる。	
11:40	Link Japan ジェネラルマネージャ 志水 英敏	
11:50	— ランチセッション(11:50-12:30)・ラボツアー(12:40-13:40)・休憩／展示会(12:30-14:15) —	
	* 昼食をご用意致しますので、各メーカー(システムプラス、テクノスター)の新技术紹介／商品紹介をお聞かせください *	
	* ランチセッション後は、展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
14:15	* ラボツアー (大久保研究室・戸井研究室の研究紹介ツアー) 参加希望者は、受付にて事前登録ください *	
14:15	「SEA 手法を用いた自動車用防音パッケージの性能設計プロセスの構築」 自動車車室内面をいくつか分割して、その音響的な特性をスピーカによる単位パワー入力に対する車室内の音響的なエネルギー量で評価する手法を構築し、効率的な防音パッケージの仕様検討の実例を紹介する。	(株)本田技術研究所 四輪 R&D センター 多田 寛子
15:00	「CAE を用いたサウンド商品の音響上流設計」 サウンド商品の音響設計プロセスに CAE を導入し、高音質とスタイリッシュデザインの両立を実現した事例を紹介する。	
15:45	ソニー(株) ビデオ&サウンド事業本部 V&S 事業部 サウンド開発部 前田 奈津子	
15:45	— 休憩・展示会 —	
16:15	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
16:15	「子どものための音環境を整える - あなたも昔は子どもだった -」 赤ちゃんの睡眠や言葉の習得には、静かで反響の少ない音環境が必要である。子どもを取り巻く音環境の現実とその向上に向けた方策の事例、および今何を成すべきかを考える。	フェリス女学院大学 音楽学部 音楽芸術学科 船場 ひさお
17:00		
17:15	CONFERENCE RECEPTION	
19:30	情報交流の場です。是非ご参加ください。(無料)	

9/4(金) JMAC 第32回技術講演会- II

9:30	— 受付・展示会 —	
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
10:00	「鉄道沿線騒音の評価手法」 鉄道沿線に伝搬する走行音を効率的に低減するためには、沿線騒音を構成する音源ごとの寄与度の算定と、反射や遮蔽などの伝搬過程における影響の評価が必要である。これらについて、取り組みを紹介する。	(公財)鉄道総合技術研究所 環境工学研究部 騒音解析研究室 小方 幸恵
10:45		
10:45	「建設機械の振動騒音に対する取り組み」 弊社で取り組んでいる建設機械の振動・騒音に対する予測・対策技術について適用事例を交えて紹介する。	(株)神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所 増田 京子
11:30		
11:40	— ランチセッション(11:40-12:20)・休憩／展示会(12:20-13:30) —	
	* 昼食をご用意致しますので、各メーカー(シーメンス、富士セラミックス)の新技术紹介／商品紹介をお聞かせください *	
13:30	* ランチセッション後は、展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
13:30	「音と振動の高品質化事例の紹介」 家電から宇宙機まで幅広い製品に対し、高機能・高性能・低コストを確保しつつ、安全・安心・快適に使えることを目指して、高信頼性確保や低振動化、低騒音化・快音化した事例を紹介する。	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 機械基盤技術部 部長 吉田 佳子
14:15		
14:15	「デジタルヒューマンシミュレーションによる身体負荷予測法」 家電や住宅設備機器などを対象に、独自開発したデジタルヒューマンシミュレーション技術を用いて仮想空間上で使用性評価を行っている。本技術における身体負荷予測法と適用事例、今後の展開を紹介する。	パナソニック(株) 解析センター ユーザビリティソリューション部 瀧本 亜紀子
15:00		
15:00	— 休憩・展示会 —	
15:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *	
15:30	「楽音の感性量と物理量の統合分析」 楽器・音響製品の感性評価を論理的、科学的に進めるため、「感性モデル」の構築に取り組んでいる。このうち、量的感性データを量的物理データで説明する統合分析について、電子ドラム音評価の事例を紹介する。	ヤマハ(株) 研究開発統括部 荒井 美希
16:15		
16:15	「スマートサウンドデザインの魅力と音商標」 快適かつ機能的なスマートサウンドデザインの魅力や研究事例、および2015年4月より新しく始まった音商標について諸外国の登録例を含めて紹介する。	中央大学 理工学部 教授 戸井 武司
17:00		